



Global Peacebuilding Association

特定非営利活動法人 日本国際平和構築協会

日本平和構築協会オンライン・ブックレビュー
京都国際平和構築センター
共催

2021年9月8日水曜日 20:00～21:30 神余隆博元国連大使

「国連安保理改革を考える——正統性、実効性、代表制からの新たな視座」

- 20:00 著者の紹介 田辺圭一監事
- 20:05 著者による本の紹介 神余隆博元国連大使
- 20:35 パネル討論 西田恒夫元国連大使、星野俊也前国連大使
- 20:45 自由討論 司会 長谷川祐弘理事長
- 21:25 次回の行事に関する案内

使用言語： 日本語

スピーカー

神余隆博



元国連大使。日本政府常駐代表(2006-2008)。関西学院理事。関西学院大学教授(国連・外交統括センター長)。日本国際連合学会理事長。京都国際平和構築センターの評議員。1972年外務省入省。国連局軍縮課長、国連政策課長として軍縮、PKOや安保理改革等を担当。その後、国際社会協力部長、国連大使(次席常駐代表)、ドイツ大使等を歴任。法学博士(大阪大学)。著書に『新国連論』(大阪大学出版会)、『国際危機と日本外交』(信山社)、『多極化世界の日本外交戦略』(朝日新聞社)、「Japans aussenpolitische Strategie in einer multipolaren Welt」

(iudicium)、編著に『国際平和協力入門』(有斐閣)、『安全保障論』(信山社)、『国連安保理改革を考える』(東信堂)他。

パネル討論者

西田恒夫



元国連大使。1970年外務省入省。1999年在ロサンゼルス日本国総領事、2001年経済協力局長、2002年総合外交政策局長、2005年外務審議官（政務担当）、2007年特命全権大使カナダ国駐箚兼国際民間航空機関日本政府代表、2010年特命全権大使国際連合日本政府常駐代表。2014年広島大学平和センター（現行名称）特任教授、2017年同センター名誉センター長。国際連合大学理事、UCLA(米国)TERASAKI CENTER 理事、及び East West Institute 理事も務める。2019年から神奈川大学学長特別顧問。

星野俊也



元国連大使。大阪大学大学院国際公共政策大学院（OSIPP）教授。2006年8月から2008年8月まで、国連日本政府代表部で政治問題を担当する公使参事官。国連日本政府次席常駐代表（2017-2020）。日本が国連平和構築委員会（PBC）の議長に就任した際の主席顧問。上智大学を卒業後、東京大学で修士号を取得し、大阪大学で博士号を取得。以前の役職は次のとおり。日本国際問題研究所上級研究員。コロンビア大学国際公共政策大学院の客員研究員。スタンフォード大学スタンフォードジャパンセンターフェロー。プリンストン大学ウッドローウィルソンスクール客員研究員。駐米日本大使館特別補佐官（政治）

自由討論司会

長谷川祐弘 理事長



日本国際平和構築協会理事長、京都国際平和構築センター長。元国連事務総長特別代表（東ティモール 担当）。カンボジア総選挙 UNV 選挙監視団統括官（1993）、ソマリア国連平和活動 政策企画部長（1994）、国連開発支援活動調整官（南太平洋 1985-86；ルワンダ 1995-96；東ティモール 2002-06 年）。

国連システム学術評議会（ACUNS）東アジア連絡事務所長。日本国連協会学術交流担当理事。地球憲章アジア太平洋日本委員会理事。ミシガン大学政治学学士（1966）、国際基督教大学国際行政学修士（1968）、ワシントン大学国際関係開発論博士号（1984）。法政大学法学部国際政治学科教授、国連大学客員教授（2007-13）、京都芸術大学特別教授（2020-）。

議事進行

田辺圭一 監事



東海大学教養学部国際学科准教授。早稲田大学政治経済学部政治学科卒、コロンビア大学国際公共政策大学院にて国際関係論修士。KPMG コーポレートファイナンス勤務後、国連世界食糧計画（WFP）ミャンマー事務所にてインド洋津波緊急オペレーション調整官兼報告官ならびに南シャン州事務所長を経てドナーリレーションズオフィサーとして WFP ローマ本部に赴任。その後、国連アフガニスタン支援ミッション（UNAMA）開発調整官、国連南スーダンミッション（UNMISS）民政官。米国公認会計士